

日本スポーツ社会学会会報

Vol. 68



＝目次＝

1. 日本スポーツ社会学会第26回大会実施要項 … 2
 2. 今後の研究企画 … 7
 3. 編集委員会からの大切なお知らせ … 8
 4. 国際交流委員会からのお知らせ … 8
 5. 事務局からのお願い … 10
- 編集後記 … 10

日本スポーツ社会学会
Japan Society of Sport Sociology
広報委員会 2017年3月

1. 日本スポーツ社会学会第26回大会実施要項（会場：信州大学教育学部）

1) 開催期間

2017年3月18日（土）・19日（日）

2) 会場

信州大学教育学部 〒380-8544 長野市西長野6-10（イロハの口）

○アクセス方法

- JR長野駅・善光寺口・バス乗り場から中心市街地循環バス「ぐるりん号」に乗車、「信大教育学部前」まで約10分（150円）

<https://www.alpico.co.jp/access/nagano/gururin/>

- JR長野駅から徒歩約30分

○宿泊関係・・・宿泊の斡旋はしておりません。

3) 主催

日本スポーツ社会学会 <http://www.jsss.jp/>

4) 日程

3月17日（金）16:00～ （旧）理事会 M館3階／301教室

3月18日（土）10:00～ （新）理事会 M館3階／301教室

	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
18日 （土）			(新) 理事会 10:00～12:00	受付	一般発表 13:00～ 14:30	国際交流 委員会 企画 【特別 講演】 14:45 ～ 15:45	大会実 行委員 会 企画 【特別 講演】 15:45 ～ 16:45	学会 総会 16:45 ～ 17:45	懇親会 18:30 ～
			学生 フォーラム 10:00～12:00						
19日 （日）	一般発表 9:30～11:30				一般発表 13:00～ 14:30	研究委員会企画 シンポジウム 「スポーツと 視覚」 14:45～16:45			

○懇親会

日時：3月18日（土）18:00～

会場：ホテル国際21／藤の間（1F） ※会場から徒歩10分

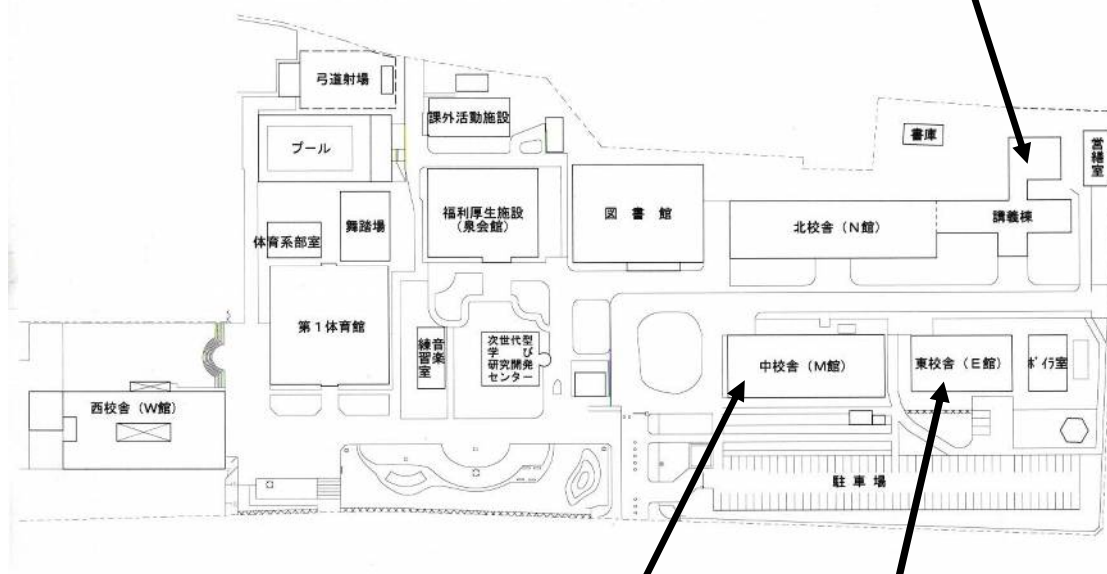
会費：5,000円（学生会員4,000円）

5) キャンパス・マップ

=N 館（講義棟）=

- ◆ 受付 1 階
- ◆ 学生フォーラム N101(1 階)
- ◆ 一般発表 N101(1 階)・N201 (2 階)
- ◆ 書籍販売 N103(1 階)

信州大学 長野（教育）キャンパス



=M 館（中校舎）=

- ◆ (旧) 理事会 301 教室(3 階)
- ◆ (新) 理事会 301 教室(3 階)

=E 館（東校舎）=

- ◆ 国際交流委員会企画 E504(5 階)
- ◆ 大会実行委員会企画 E504(5 階)
- ◆ 学会総会 E504(5 階)
- ◆ 研究委員会企画 E504(5 階)

6) キャンパス・ネットワーク

ログイン画面アドレス <https://acsu.shinshu-u.ac.jp/ActiveCampus/index.html>

ログイン ID ※『大会号』に記載

パスワード ※『大会号』に記載

ログインの後 ⇒左側の ACSU ネットワーク欄

⇒<ACSU ネットワーク利用 SSO>をクリック

⇒ネットワーク接続の完了

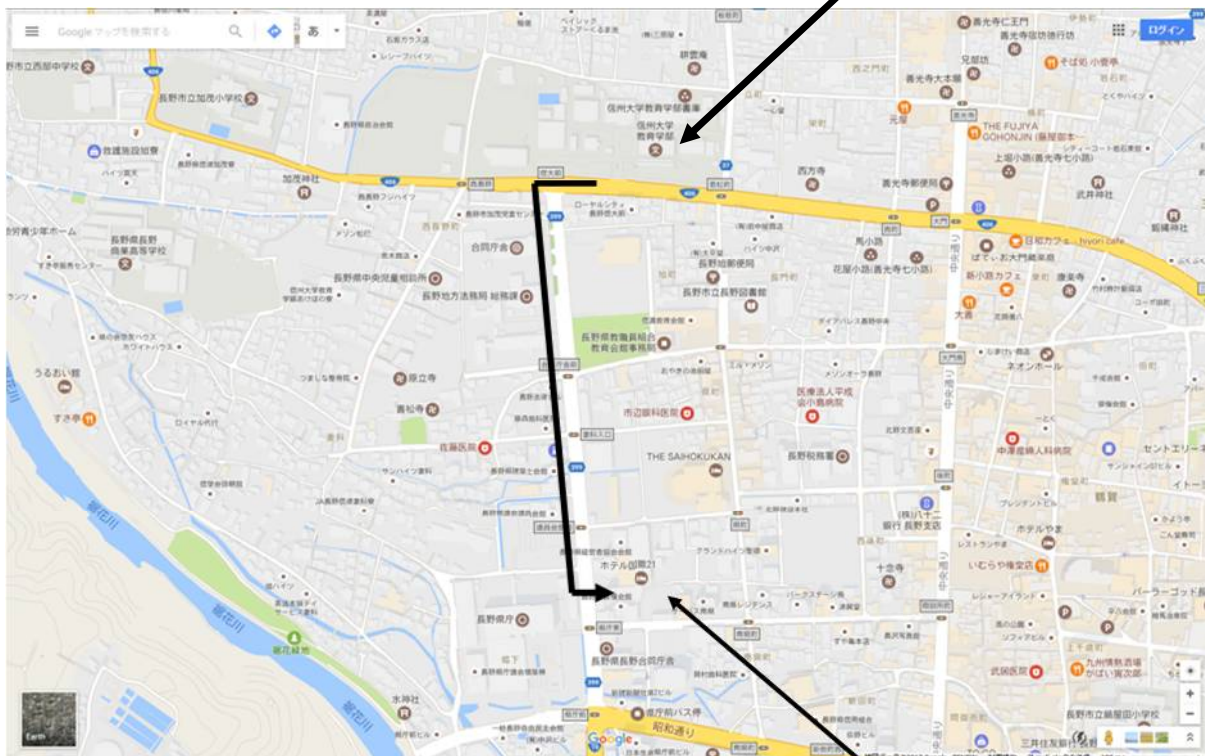
7) 懇親会

日時：3月18日（土）18：30～

会場：ホテル国際21 弥生の間(2階) ※会場から徒歩10分

会費：5,000円（学生会員4,000円）

学会会場／信州大学教育学部



懇親会会場／ホテル国際 2 1

8) プログラム

< 3月18日(土)>

【学生フォーラム】

10:00～12:00 / N館101教室(1階)

タイトル:「新たなスポーツ・マスキュリニティ研究に向けて」

登壇者: 兼子歩 (明治大学政治経済学部)

岡田桂 (関東学院大学国際文化学部)

コメンテーター: 竹崎一真 (筑波大学大学院)

司会: 青野桃子 (一橋大学大学院)、村本宗太郎 (立教大学大学院)

【一般発表】 13:00～14:30

< イベント・物語 N館101教室(1階)>

13:00～ 中山健二郎(立教大学大学院)・松尾哲矢(立教大学)

高校野球に纏わる「物語」の再生産とそのダイナミズムに関する一考察

13:30～ 津川美香(東京学芸大学大学院)

現代社会における「イベント・スポーツ」の誕生

ーランニング・イベントの事例を通してー

14:00～ 竹内秀一(学習院大学大学院)

スポーツの「物語性」を分析する方法論としての V.プロップ形態学の可能性

〈メディア N館201教室(2階)〉

- 13:00～ 河野洋(順天堂大学大学院)・趙倩穎(順天堂大学大学院)・北村薫(順天堂大学)
オリンピックリオ大会における日本と中国のウェブコメントの調査
—オリンピックバリューの顕在化に着目して—
- 13:30～ 山本夏生(一橋大学大学院)
テレビが生み出すエリート像の検討—2016年リオオリンピック期間中の夜の
報道番組「ニュースウォッチ9」の内容分析から—
- 14:00～ 渡正(順天堂大学)
パラリンピックの報道をめぐるテキスト分析
—1964年と2016年の比較を中心に—

【国際交流委員会企画】

14:45～15:45 / E館504教室(5階)

Keynote スピーチ

講師：Dr. Elizabeth C.J. Pike

【大会実行員会企画】

15:45～16:45 / E館504教室(5階)

「スポーツのホスピタリティと身体技術の非分離・述語制」

講演者 山本哲士(文化高等研究院 ジュエネラル・ディレクター)

【学会総会】

16:45～17:45 / E館504教室(5階)

【懇親会】

18:30～

会場：ホテル国際21 弥生の間(2階)

<3月19日(日)>

【一般発表】9:30～11:30

〈身体・理解 N館101教室(1階)〉

- 9:30～ 井上翔太(東京学芸大学大学院)
「拡張現実」と現代的な身体についての一考察
- 10:00～ 岡田光弘(国際基督教大学・教育研究所)
大学体育授業の観察社会学
—P.Winchに学び、異文化としての学生を理解する試み—
- 10:30～ 近藤誓(東京学芸大学大学院)
「信頼」と競馬に関する社会学的一考察
- 11:00～ 大隈節子(三重大学)
バレーボールにおける技術的關係性に関する研究
—戦術としての『間』に着目した事例から—

〈運動部活動・子どもスポーツ N201教室(2階)〉

- 9:30～ 千葉直樹(北翔大学)
高校バスケットボール指導者の暴力行為に関する認識と指導信条の関係
- 10:00～ 斎藤貴博(東京学芸大学大学院)
経済的格差における子どものスポーツが持つ「二面性」に関する研究
- 10:30～ 服部宏治(広島国際大学)・東川安雄(広島大学)・迫俊道(大阪商業大学)
社会的機能を発揮する学校部活動のあり方に関する基礎的研究
- 11:00～ 白石義郎(久留米大学)
運動競技の京都帝国大学への取り込み
—総長木下広次のオックスケンブリッジ・モデル—

【一般発表】 13:00～14:30

〈伝統・地域 N101教室(1階)〉

- 13:00～ Dr. Jung K.S. (Wakayama Medical University, Japan)
Prof. Legg D. (Mount Royal University, Canada)
Prof. Tajima F. (Wakayama Medical University, Japan)
Prof. Chappelet J-L. (University of Lausanne, Switzerland)
The Conceptualisation of Medical and Health Legacies
- 13:30～ 原祐一(岡山大学)
カンボジア王国における小学校「運動会」をめぐる
教育省行政官の認識枠組み
- 14:00～ 松本彰之(日本体育大学大学院)
伝統文化の伝承に関する研究：長野県地域の『屋台獅子』の活動

〈ジェンダー N201教室(2階)〉

- 13:00～ 高峰修(明治大学)
イギリス国内におけるトランスジェンダー・アスリートの新聞報道分析
- 13:30～ 飯田貴子(帝塚山学院大学名誉教授)・吉川康夫(帝塚山学院大学)・
藤山新(首都東京大学)・來田享子(中京大学)
性的マイノリティについての知識とスポーツに対する価値観および
性に対する態度との関連

【研究委員会企画】

14:45～16:45 / E館504教室(5階)

「スポーツと視覚」

司会：リー・トンプソン(早稲田大学) 石岡丈昇(北海道大学)

発表者：伊藤亜紗(東京工業大学) マルソー・シュノー(華東師範大学)

木村敬一(東京ガス/日本パラリンピアンズ協会)

通訳：倉島哲(関西学院大学)

9) 一般研究発表に関する注意事項

一般研究発表の時間は、発表20分、質疑応答10分です。発表の際に必要な機器がある場合(PC、プロジェクタ、VTR(VHSのみ対応)、DVDなど)は、発表申込みの際に、当

該箇所はその旨を記載して、申し出てください。パワーポイントによる発表を希望する方は、できるだけ USB メモリにデータを持参してください。当日、発表資料を配付する場合は、各自で 70 部以上を持参してください。

10) 昼食について

学会大会開催時、キャンパス内の食堂は休業中ですので、大学周辺および善光寺周辺の飲食店等をご利用ください。

11) 学会大会実行委員会

実行委員長 橋本純一（信州大学学術研究院総合人間科学系）
事務局 橋本政晴（信州大学学術研究院教育学系）

【第 26 回大会 HP ならびに問い合わせ先】

第 26 回大会ホームページ：<http://jsss.org/>

問い合わせ Email：hashimo@shinshu-u.ac.jp



2. 今後の研究企画

1) 第 26 回大会研究委員会企画

(1) 研究委員会企画シンポジウム

タイトル：「目の見えないアスリートからスポーツ社会学は何が学べるか（仮）」

日時：2017 年 3 月 19 日（日）14：45～16：45

概要：研究委員会では、昨年度に引き続き、「スポーツと視覚」をテーマにしています。学会大会のシンポジウムでは、視覚障害をもったアスリートのスポーツ経験から、スポーツ社会学は何が学べるかについて、探究します。

登壇者（順不同）：

伊藤亜紗：東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授。著書に『目の見えないアスリートの身体論』など。

木村敬一：東京ガス所属・日本パラリンピアンズ協会理事。1990 年 9 月 11 日 滋賀県栗東市出身。2 歳の時に病気のため視力を失う。10 歳から水泳を始め、単身上京した筑波大学付属盲学校（現・筑波大学附属視覚特別支援学校）で水泳部に所属。着実に実力を上げ頭角を現す。高 3 で 2008 年北京パラリンピックに出場、日本大学 4 年時に出場した 2012 年のロンドンパラリンピックでは、100m 平泳ぎで銀メダル、100m バタフライで銅メダルと念願のメダルを獲得した。2016 年リオデジャネイロパラリンピックで銀メダル 2 個、銅メダル 2 個の快挙を成し遂げた。

マルソー・シュノー（Marceau CHENAULT）：華東師範大学（上海）体育と健康学部博士課程研究員及び講師、ニース大学（フランス）人類学及び臨床・認知・社会心理学研究所連携研究員、上海市気功研究所指導員。研究テーマ：アジアの心身技法のグローバル化に関する人類学的研究、ブラインド・エクササイズ指導の研究。

(2) 学生フォーラム

日 時：2017年3月18日（土）10:00～12:00

タイトル：「新たなスポーツ・マスキュリニティ研究に向けて」

登壇者：岡田桂（関東学院大学国際文化学部）

兼子歩（明治大学政治経済学部）

コメンテーター：竹崎一真（筑波大学大学院）

司会：青野桃子（一橋大学大学院）、村本宗太郎（立教大学大学院）

研究委員長 リー・トンプソン（早稲田大学）



3. 編集委員会からの大切なお知らせ

既にご連絡しておりますように新編集制度は二年施行後（次年度終了後）一定の見直しを行うものとしています。その期に規約の改正を行いますが、「二重投稿」に関するお問い合わせがありましたので、当面以下のように編集委員会に事前申告することをルール化したいと思います。

「二重投稿」の禁止

学会誌への投稿論文は未発表のものに限られます。既発表の論文と著しく内容が重複する論文を投稿することは「二重投稿」として禁じられています。すでに公刊されている論文と相当程度内容が重複する論文を投稿する場合には、(1)これら既発表論文すべてのコピー、(2)既発表論文と投稿論文との関係（特に投稿論文の議論の中心部分が既発表論文と重複していないこと、および投稿論文の議論の新規性）を説明した文書、を投稿時に編集委員会宛に添付してください（書式自由）。査読に先立ち編集委員会において「二重投稿」にあたらぬかどうかを検討します。

編集委員長 山下高行（立命館大学）



4. 国際交流委員会からのお知らせ

国際交流委員会では、来年の学会大会に合わせて、前の国際スポーツ社会学会会長で、日本でも大変馴染みのある方も多い、Elizabeth C.J. Pike 先生を招聘することになりました。先生の現在のご所属は以下の通りです。

Head of Department, Sport Development and Management

Reader in the Sociology of Sport and Exercise

Chair of the Anita White Foundation

University of Chichester / College Lane / Chichester , UNITED KINGDOM

Pike 先生の近年のご研究テーマである“**Aging and Sports**”や、スポーツ社会学の国際的な動向等についてお話を伺えればと思っております。

あらためて会員の皆様にはお知らせいたしますが、現在のところ、以下のようなスケジュールを立てております。

(1) プレ講演会

日時 2017年3月15日(水) 13:00~14:00

場所 東京学芸大学 中央講義棟 S410 教室

(2) 学会 Keynote スピーチ

日時 2017年3月18日(土) 14:45~15:45

場所 信州大学教育学部 E館 504 教室(5階) (第26回日本スポーツ社会学会時)

多くの皆様のご参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

国際交流委員会委員長 松田恵示 (東京学芸大学)



5. 事務局からのお願い

異動等で連絡先・住所等の変更がありましたら、速やかに事務局までご連絡をいただけますようお願いいたします。

また、今年度年会費をまだ納めていただけていない方が多くいらっしゃいます。早急に入金をお願いいたします。

事務局長 坂なつこ（一橋大学）



編集後記

早くも広報委員としての二年間の任期が終わろうとしています。この間、研究誌掲載論文の J-Stage 公開が始まり、学会 HP からのリンクも進めてきました。また会報につきましてもコンテンツを充実させようと試みてきましたが、手順が悪かったために発行が常に遅れがちで、情報をお寄せいただいた方、会員の皆様にはご迷惑をおかけしました。広報委員会を代表してお礼とお詫びを申し上げます。次期広報委員会に引き継ぎますので、広報活動に関してご意見やアイデアなどがありましたら、学会事務局のアドレス経由でお寄せいただければ幸いです。よろしく願い申し上げます。

広報委員 高峰修（明治大学）

- ◆ 学会への連絡、入退会、住所・所属・メール等の変更、会費納入、その他の各種手続き
日本スポーツ社会学会事務局 坂なつこ【事務局長】 高尾将幸【事務局庶務】
E-mail: jsssjimukyoku@gmail.com
- ◆ 学会公式ホームページ
日本スポーツ社会学会公式ホームページ
<http://www.jsss.jp/>